

【ミッションステートメント】「いっしょに歩こう！プロジェクト」～日本聖公会東日本大震災被災者支援

- ① わたしたちは、東日本大震災により困難を負って生きる人々に敬意を払っていっしょに歩きます。
 ② わたしたちは、被災地の方々の生活と地域の再創造に向けていっしょに歩きます。
 ③ わたしたちは、主イエス・キリストが、共に歩いてくださることに励まされていっしょに歩きます。

前回の支援室ニュース発行から1ヶ月あまりが経過してしまいましたことをお詫び申し上げます。釜石神愛幼児学園では新園舎も完成し、新しい年度の保育が始まっています。釜石の町では、ようやく復興住宅の完成の目処が付き、入居募集も始まっています。あと少しとなりましたが、これからも釜石への支援をよろしく願います。

【内海司祭 釜石勤務】

3月1日～12日の日程で、内海司祭が釜石での勤務を行っていただきました。お働きに感謝いたします。

【神愛幼児学園 引越しボランティア】

3月21日～26日（現地は22日～25日）の日程で、橋本慶恭さん（札幌キリスト）大町包さん（マーガレット）齋藤晃さん（旭川）と吉野執事の4名が釜石神愛幼児学園の新園舎への引越しのお手伝いをしていただきました。かなりの大荷物でしたが、若い力を発揮して、あっという間に一部屋にぎっしり詰まっていた荷物が新園舎に運び込まれました。また、滞在中だった東北教区の渡部聖職候補生や、神愛教会の松田さんもお手伝いくださいました。ありがとうございました。青年たちは、その後仮設住宅を訪問して旧交を温めるなど、よい交わりの時を持つことができたようです。受け入れてくださった方々、またこの機会を与えてくださった方々に心より感謝を申し上げます。

【神愛幼児学園入園式】

4月5日、新園舎において神愛幼児学園の入園式が行われました。北海道教区からは、支援室長の飯野正行司祭が出席されました。そのことについて原稿をいただきましたので掲載いたします。

【入園式にあたって】

室長 司祭 飯野正行

今月の5日（金）に釜石神愛幼児学園の平成25年度入園式が行われました。3月30日（土）に18名が卒園。新年度は、中途入園児を含め35名の入園で、総勢87名のスタートです。

新園舎はとても立派なものです。耐震強度の強いもので、壁の色や外光の取り入れの工夫などにより、とても明るい造りとなっています。L字型の真ん中に事務室（職員室）があり、そこからどちらにも行ける形になっています。ホールの天井は高く、とても解放感があり音も響きます。

入園式は第1部が入園礼拝、第2部がお祝い会で、お祝い会では新園舎誕生と共に作られた園歌『釜石の天使』が園児たちにより歌われ、作曲家の宮崎歩氏も出席されており、「泣きそうになりました」と語っておられました。6日（土）は市の関係の方々、業者、地域の方々、他園の方々、園医、理事の方々などをお招きしての園舎落成記念式で、この時にも『釜石の天使』は歌われ、子供たちの輝きに皆が感動、大きな拍手が起こりました。

釜石被災者支援センター長の海老原祐治氏は神愛の園児たちのことを度々「釜石の天使（釜天）」と呼んでおられますが、園歌『釜石の天使』はそこからインスピレーションを受けて、私が作詞させていただいたものです。この『釜石の天使』を通して、希望のムーブメントが起こることを願っています。

今後の釜石での支援活動はどのように行っていくのでしょうか。詳細はまだ見えない部分もあるのですが、どのようになるにせよ、希望の灯をともし続けて行きたいと心から願っているのです。どうぞ引き続きお祈りください。そして、お力をお貸しいただきたいと心より願っております。

【釜石の天使】

作詞：飯野正行
作曲/編曲：宮崎 歩

- | | |
|--|--|
| <p>1. いつもいっしょ わたしたちは
おあそびのときも おかたづけのときも
いつもいっしょ わたしたちは
おいしいきゅうしょくも かけっこするときも （イエ～ツ！）</p> | <p>2. いつもいっしょ わたしたちは
おいのりのときも おうたうたうときも
いつもいっしょ わたしたちは
おれいはいのあとは みんなでハイタッチ （イエ～ツ！）</p> |
|--|--|

よろこぶひとと ともによろこび
かなしむひとの てをとるあるく
やさしいところ かがやくえがお
かまいしのでんし。

どんなときにも イエスキマイっしょ
ちからのかぎり ささえあう
こころのひかり せかいのきぼう
かまいしのでんし。

ああ、かまいし しんあい ようじがくえん。 （イエ～ツ！）

【釜石での活動】

※海老原さん発信のブログより抜粋

3月26日

さて本日は3 ミッションの一日。まずは社協のコミュニティーイベント応援。今回も箱崎です。座布団の追加などもあり、私が行く予定でしたが、同時刻に東京から女子聖学院高校の先生が夏のボランティアキャンプの打ち合わせで来釜。夏に向けて実り多い話し合いができました。また昨日到着した函館の中村さんの視察も行ってきました。箱崎は松田さんが行ってくれました。いつもありがとうございます。

午後は毎年恒例の桑畑書店さんの教科書販売の応援。釜石商工に教科書を運んできました。日曜日でも幼児学園引越して腰を使いましたが、今日の教科書もヘビー。ギック・リーが心配です。沢田さん・渡部さんご苦労様でした。センターは午前が渡部&沢田さんのコンビ。午後が中村さん。今日も華やかな春のようなセンターでした。お疲れ様です。

4月4日

春です。どうやら本格的な春のようです。釜石では3月の終わりにどか雪が降って、其れを境に春がやってくるのがパターンなのですが、今年はその冬の終わりを告げるどか雪がふりませんでした。人によっては「これから降るのよ」と言いますが、もう降らないだろうというのが大勢です。さてどうなるのでしょうか。そろそろタイヤ交換も考えなければいけない時期ですね。

本日も一人です。常連さんに囲まれて楽しくデスクワーク。ちょっ間を縫って外用事をすましたりしながら一日が過ぎてゆきました。今日行った主な仕事は、ニュースレターの原稿の第一稿作成、スポットプログラムのポスター原稿作成、帳簿の作成、ボランティアの調整、月末の他団体の視察のコーディネート、などなど。案外まじめにお仕事しました。当然だろう。

4月14日

日曜日です。主日です。牧師さんが来ています。聖餐式であります。本日はセンター2階で食卓を囲んでの聖餐式。司式・説教は橋本司祭さま。サーバーが入江さん。一花さんと高橋園長が日課を読んで、私が代祷という礼拝。橋本先生のお説教がこころに残っています。癒しについてお話しくださったのですが、癒しとは病気が完全に治ったり、問題がきれいに解決されたりすることではなく、主がすべてを肯定してくださることであるというお話でした。これは我々の支援センターの働きに相通じるものです。我々も痛手や課題を抱えた被災者との関わりのなかで、まずその人を肯定する作業を行っているからです。その人をそっくりそのまま肯定するとは、会えて嬉しいこと、また来てくれて嬉しいことを伝えることです。あなたに会えて嬉しいですよ、というメッセージを伝わるように伝えることがその人を肯定する第一歩だと思うのであります。橋本先生いいお話しありがとうございました。

4月16日

忙しい一日でした。午前はトリプルブッキング。まず幼児学園の子供礼拝。それから大畑の南の方の仮設で「匂い袋作りを楽しむ会」こちらの仮設では談話室プログラムのはじめて。それに某仮設の自治会役員会。まず園に橋本先生と入江さんを送り届け、三光教会チームを大畑へ。冒頭の挨拶を済ませてから自治会の会合へ。会合が終わってから今度は逆回りでみなさんをお迎えに。なんとか想定の時間内で終わりました。バタバタと走り回る私の目を釜石の桜、人呼んで釜石桜・略称は釜桜・が慰めてくれます。

午後も中妻町あたりの仮設で「匂い袋」こちらには橋本先生と入江さんも加わっていただきました。私はやはり開会の発声をして木曜日から始まる「歌っこ」の準備で3つの仮設へ。

匂い袋作りはどこでも大好評。人気の香りはラベンダー。ついでヒノキでそれからローズマリーといったところです。

【いっしょに歩こう！プロジェクト】

「いっしょに歩こう！プロジェクト」の活動の様子は、月一度発行予定の「ニュースレター」や、「いっしょに歩こうプロジェクト！」ホームページ<http://nssk.org/walk>で、ご覧いただけます。

【支援室の活動】

インターネットで支援室ブログが見られます。毎日の釜石ベースの活動もアップされます。<http://nsskhokkaido.blog89.fc2.com> 又は、「日本聖公会北海道教区ホームページ」→「東日本大震災」→「震災支援室ブログ」の手順でご覧下さい。

【震災支援室より】

◎ 支援室ニュースは、各教会において掲示下さると共に、増刷して配布ください。支援室ニュースのバックナンバーは、日本聖公会北海道教区のホームページにでも見る事ができます。

◎ 教会や個人での取り組みについても、お知らせください。他の教会の活動の参考になります。

【連絡・問合せ先】 電話：011-561-0451、ファクス：011-736-8377

Eメールアドレス：saigai@nssk-hokkaido.jp

【釜石ベース】〒026-0031 釜石市鈴子町5-4 「聖公会 釜石被災者支援センター」

☎0193-55-4524、090-6999-7840

Eメールアドレス：nssk311@yahoo.co.jp